

留萌市財政再建に関する特別委員会

留萌市財政健全化計画に対する 審議経過について

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、平成20年度決算から特別会計なども含めた連結での財政指標に基づいて、自治体の財政赤字状況が判断されることとなりました。留萌市の平成19年度決算では、国民健康保険事業特別会計で3.7億円、下水道事業会計で5.1億円、病院事業会計で27.5億円の赤字（不良債務）となり、連結実質赤字額は、28.9億円まで膨らみ、連結実質赤字比率36.61%、財政再生基準となる40%を辛うじて下回っている状況となり、「財政再生団体」転落という赤信号が点滅し始めました。

留萌市は、35億円にも膨らんだ市立病院の不良債務を病院単独で解消することは困難と判断。公立病院特別債・18億2400万を申請、その償還財源の全額と残る不良債務全額を一般会計が支援し特別債の償還期間の

7年間で連結実質赤字額を解消していく方針を固め「留萌市財政健全化計画」(案)を打ち出しました。10月から11月にかけて開催された市政懇談会で出された市民の声を十分に市政に反映することを念頭に置き、20年度は6月6日から1月13日まで9回の特別委員会を開催、計画の内容について審議を重ねてきました。

特に市立病院は「留萌市立病院改革プラン」(平成20年度～27年度)案を策定、単年度赤字を発生させない経営改革に取り組む方針を掲げました。

特別委員会としては、策定中の健全化計画が多くの市民サービスの削減や増税、大幅な人件費削減、さらには官民協働の自治意識を育む施設管理の推進など市民生活に与える影響が大きいことを深く考慮した上で次の10項目について強く要望することとしました。

(委員長)江澤 順次 (副委員長)村山ゆかり
(委員)天谷 孝行、坂本 守正、坂本 茂
議長 原田 昌男 副議長 野崎 良夫

理事者側に要望する10項目(抜粋)

- 1 市民と市役所、議会が危機感を共有し、互いに理解を深め、留萌市全体が一体となって、財政再生団体への転落回避を成し遂げなければならない。市民との対話が不十分と言える反省を踏まえ、今後も定期的な市政懇談会の開催など積極的な情報の共有化を図っていくこと。
- 2 改革の負担や痛みを乗り越えるためには、改革後の暮らしや営みに期待と希望を持てる具体的で現実的な将来像が必要であるので一年ごとの計画の検証を行い、一日も早い財政安定化を目指していくこと。
- 3 健全化計画終了の7年後には全会計連結の赤字が解消されたとしても、持続可能な自治体経営を目指し、新しい留萌の姿をつくる取り組みを積極的に行っていくこと。
- 4 ぶるも休止やスキー授業の見直しなど学校教育、社会教育に関する項目が多いので、子どもの将来をしっかり見据えた教育環境整備を早急に進めていくこと。
- 5 市立病院の累積債務35億円は、国の政策による要因が大きく、重大な負担を市民に課している。計画実施に当たっての市民負担を考えると地域医療支援対策など国への要望を積極的に続けていくこと。
- 6 市立病院を再生し、地域医療を守るという留萌市の方針を理解した上で、病院改革プランが計画通りに実施されるよう厳しい体制でいどみ、自主・自立の経営を目指すに伴って不断の改革を求める。
- 7 健全化計画に盛り込まれた削減項目の実施に加えて、国からの財源確保と留萌市独自の歳入事業の実施で積極的な財源確保に務めていくこと。
- 8 病院経営にあたっては、留萌地域の医療を担うセンター病院として、他町村からの負担を見込めるよう、広域的な協議を継続すること。
- 9 留萌市立病院改革プランを計画通りに実施するためにも、現在の病院スタッフが一人も欠けることなく一丸となって進めていかなければならない。特に医師、看護師をはじめとする医療スタッフの確保・充実に力を入れていくこと。
- 10 人件費大幅カットなど厳しい現状に直面している組織体制を余儀なくされているが、最低限の人数と機能であっても質の高い業務内容を遂行し、市民と共に歩む働く市役所を目指していくこと。



もくじ

- P10 平成20年第4回定例会議決事項
- P11 財政健全化に関する特別委員会報告
- P12 議会を傍聴して「議会へ行こう」①
- P13 議会を傍聴して「議会へ行こう」②
- P14 常任委員会の動き
- P15 私たちのまちのこんなことが知りたいよねー その④
- P16 第4回定例会一般質問項目
- P17 農業委員会、用語解説 ほか

議会です こんにちは



第4回定例会(12月2日から12月10日)で可決されました陳情報告、報告2件、議案8件、意見書案3件の主な内容をご紹介します。

陳 情

留萌市立幌糠小学校の閉校案の撤回を求める陳情について(第1常任委員会報告)

第1常任委員会を11月中2回開催し参考人の意見聴取により審査の結果「本案は、なお審査の必要があるので、閉会中の継続審査を求める」と報告

報 告

損害賠償についての専決処分報告2件

議 案

- 平成20年度留萌市一般会計補正予算(第4号)
- 平成20年度留萌市老人保健事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成20年度水道事業会計補正予算(第1号)
- 平成20年度留萌市病院事業会計補正予算(第3号)
- 留萌市長期継続契約を締結することができる契約を

定める条例制定について
留萌市水道条例の一部を改正する条例制定について
留萌市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
留萌市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

陳 情

留萌市温水プール「ぶるも」の運営継続を求める陳情(留萌市財政健全化に関する特別委員会に審査を付託)

陳情者 留萌水泳協会理事長 及川 元 義
留萌スイマーズ会長 戸ノ崎 正 樹

陳情の趣旨 留萌市の財政健全化計画(21年～27年)に掲げる温水プール休止案、すなわち平成21年3月末をもって留萌市温水プール「ぶるも」の休止を実施するとの方針の撤回を求めます。

意 見 書 案

- 安心の介護サービスの確保を求める意見書
- 暮らせる年金の実現を求める意見書
- 「食の安全確保」への取り組み強化を求める意見書

地域活性化・緊急安心実現総合対策事業について

政府が示した「安心実現のための緊急総合対策」に対し、これに応じた緊急総合対策に取り組む地方公共団体について創設された「地域活性化・緊急安心実現総合対策」制度。

留萌市への配分額 11,645,000円
予定されている地域活性化対策事業
「ECO商店街構築事業交付金」

3,000,000円
商店街にポイントカードと連動した空き缶ペットボトル容器回収機を設置し、回収による集客とカードポイントによる商店街の購買力の増加、市民のエコ意識高揚で商店街が中心となった資源循環型社会

の構築と商業振興対策事業で、容器回収機購入等に使われます。

「地場産品の販売拡大、農商工連携拠点施設設備交付金」
6,100,000円

産直市や屋台イベントの定期開催を通して、交流人口の拡大に向けた情報発信、新商品開発のPR、試験販売、活魚販売などに必要な備品購入費に使われます。

「るもい水産加工ブランド力強化事業」
2,500,000円

水産加工振興に焦点を当てた情報発信サイト・DVD製作・販売促進事業などに使われます。

市政への疑問や議会への関心が高まっていることを印象づけた第4回定例会。傍聴に訪れてくださいました市民の皆様からいただいた感想や意見をご紹介します。ご協力ありがとうございました。



「机上の理論だけでなく、実践を！」

渡辺 一夫(明元町6丁目)

12月8日、議会第4回定例会を友人、知人5人で傍聴しました。

これまで、あまり足が向かないままでしたが、今回は生まれて初めての経験でした。議会に足を向けさせた理由は、今日の留萌市の、いや我々市民全体が抱えている財政健全化計画や市立病院改革プランについての、自分の知識のレベルを確認し納得させたかったこともありました。そしてもう一つの大きな理由は、「留萌市の漁業振興対策」の質問に対して、市長自身の前向きな答弁を拝聴したかった。

留萌は、にしんの栄華で発展し、現在の留萌基盤が出来上がったことは、言うまでもないことですが、これまでに漁業振興について議会で質疑応答があった記憶が私にはありません。

漁業、農業の第一次産業の発展なくして留萌市民の地産地消の食生活は、あり得ないものと思われます。市長答弁は、水産課の回答文かと思われるが、何度も繰り返された「官学協同事業」だけでは、漁民や我々市民にとって理解しにくいものであり、市長自身が考えておられる「本音」を聴きたかったと思います。

今後も漁民との直接対話を積極的に進め、漁民の声を反映し、漁業振興について見識を広めた第二、第三の議員が登場することを期待し、3月議会を傍聴したいと考えております。

「議員は活動報告定期的に」

上條 KEN(幸町2丁目)

12月議会を傍聴した。一般質問の初日。財政再建計画発表、市政懇談会後の議会。30程の傍聴席に私も含めて12、3人。顔見知りの新聞記者の話では普段よりは格段に多い数だという。正直「やっぱり、まあこんなもんかな。」と思った。【市民の生活にかかわる様々な問題について議論がされ、決定される場を傍聴し、見届けるのは有権者の義務であり、責任でもある。】【だから、市民はもっと議会傍聴に出かけなければいけない。】実は私は、このことに少しの疑問を感じている。議会傍聴というと、どんな議論や決定がされるのかを見届ける以上に、議員活動の監視の意味合いを強く感じる。議員とは有権者の

「20年ぶりの傍聴」

竹山 洋(栄町1丁目)

2008年12月の「広報のもし」を読みまして、「財政健全化」「市立病院改革プラン」の市政懇談会の報告がなされていました。

私も地域の役員をしていますが、旅行の為、出席出来ませんでしたので、市立病院の赤字問題などで「第二の夕張」になるのではとの心配もあり、誰にも意見をいう機会もなく、ストレスがたまっていたところで、第4回定例会市議会一般質問の日程を知りまして、関係議員の質問日の9日、傍聴させていただきました。

久しぶり(20年ぶり)の傍聴で、驚いたのは、傍聴席は変わりませんでした。議員の数の少ない事、削減は知っていましたけれど、こんなにコンパクトになっていた事でした。

それに一問一答は、大変わかりやすく理事者側も、議員も真剣に留萌市の為に、頑張っている事を肌で感じ取りました。

しかし、市政懇談会で出された「市民の声」が本当に市政に反映させられているのかとの疑問、これ以上議員の数が減っては、市民の声が議会に反映されることに影響が出るのではと思いました。私も市民の一人として、他人まかせではなく、自ら市政に参加していく機会を作っていこうとの気持ちを強く持ちながら、帰路につきました。

議員の皆さん、頑張ってください。

投票で選出される代議員。それぞれの支持者からは期待と応援と共に、マチの問題解決の意思決定の権限も委託されているはずである。言い方を変えれば信託されているのだ。支持者はその議員に信頼を寄せているのだから、わざわざ監視に出向く必要はないはず。本来必要なのは、活動報告、議会報告の場である。寄稿させていただきながら失礼だが、この『広報紙』でその責任を果たしていると思われるのなら、それは怠慢である。各個人でなくとも、議員全体や党派ごとでもいい。是非、定期的に行って欲しい。勿論、信託した市民が積極的に参加する責任は、より大きいことを自覚しなければならない。

最後に先般傍聴した市議会、食い足りなさはあるものの、予定調和の場ではなかったことを書き残しておきたい。

「水産都市 留萌の復活を！ ～留萌のお魚を愛する者より」

小見 敏一(開運町)

12月8日、初めて市議会定例会一般質問を傍聴しました。というのも「留萌市の漁業振興政策」に対する質問に興味があったからです。私は水産団体に勤務する者で、来春、留萌に赴任し丸4年が過ぎますが、留萌市はナンバンエビ、たこ、ハタハタ、うに、あわび等、道内有数の食材宝庫であると思います。しかし、一方では後継者不足、資源の枯渇や留萌ブランドに対するPRの低さ等の様々な諸問題があることも事実であり、市がこの事実をどのように捉え・考え、またその対策等を拝聴しました。市の考えもある程度理解でき、また限られた予算では効果的な振興対策実現も困難である現実も痛感しました。しかし、何も対策なしでは前進しません。浜の皆さん、関係者との対談をどんどん重ね、漁協振興に向けた実のある案が出される様、議員の皆様宜しくお願いします。

「官・民一体となりまちの再生を」

留萌商工会議所青年部 串 橋 伸 幸(末広町4丁目)

私自身、これまで多少なりとも議会に関心がありましたが、仕事の都合上等で傍聴する機会がありませんでした。

この先、自分達の暮らしている留萌市がどうなっていくのか非常に不安を抱き、この度、議会を傍聴させていただきました。

ここ最近、留萌市では「財政健全化計画」「市立病院改革プラン」「市民サービス見直し項目」「税率アップ」等、厳しい状況ばかりで、将来を見据えた確実性のある展望が一向に私達市民に届いてこないのが今の現状なのではないでしょうか。

何名かの方が財政健全化、病院改革プランについて質問されておりましたが、全く得ない答弁や、不明瞭であったりと、今の状況がまるで他人事になってしまっている気がしてなりません。

答弁者の方々には、もっと現実性のある取組を計って頂きたく思います。

地域の協働の力を活用し、官・民が一体となり街の再生を心掛けなければならない時代だとも感じました。

市民の代弁者である市議会議員の皆様には是非とも、意識と情熱を持って、住みよい街作りを目指して頂きたく思います。

「質の高い質疑応答が展開されるべき」

下山 園 恵(見晴町1丁目)

今回、初めて市議会を傍聴する機会を持ちました。厳しい財政運営を強いられているのは留萌市ばかりではないが、傍聴する事でより身近な問題として捉える事が出来たと思います。しかし、赤字財政という事で、図書館の予算が1/5に削減されたり、ぶるも問題等、文化的・教育的発信源を切り捨てるといった状態はあってはならないと強く思いました。また、議会での質疑応答は台本を読んでいる様な印象を受けました。特に質問事項はすでに市側に提出されているのだから、それを読み上げるのに予定の時間を半分も費やすのはどうなのでしょう。もっと内容のある質の高い質疑応答が展開されるべきだと思います。さらに答弁する側も市長や笹川院長ばかりでなく、病院の事務長であったり、市の直接の担当者である管理職もあたるべきだと思います。今回はそれも期待したいものです。最近の新聞に「小規模自治体の意思で一部権限を都道府県などに返上できる制度を新設すべき...とする提言案を公表した」とありましたが、この事は留萌市としてはどうなのか、それも知りたいと思っています。

「担当者も答弁を」

橋本 喜代子(五十嵐町1丁目)

今回、議会を傍聴に行ったのは、ぶるも休止を含む留萌市財政健全化計画の件がどのように審議されるのかを、実際に聞きたいと思ったからです。

実際の議会は、ミニ国会の様で、用意された質問に対する返答が主で、もう少し活発な議論を期待して行ったので少々がっかりしたのが本音です。市立病院の健全化についても、市政懇談会の時の質問・返答の方が身近に思いました。限られた時間内の事で仕方ないことなのかもしれませんが、返答についても、市の担当役者の方がもっと答えられた方がいいように感じました。

1日だけ、それも3時間程の経験でしたが、留萌のこれからの事が決められるのですから、多くの方に傍聴していただきたいと思い乍ら帰って参りました。それにしても傍聴席が少々狭いのが気になりましたが.....

私たちのまちのこんなことが知りたいよねー

留萌市の財政や政策についてもっと知りたいこともあるという市民の方の疑問の声に応えるため“こんなことが知りたいよねー”企画をお届けしています。

その4

H20年度末には約35億円にも赤字が膨らむ留萌市立病院を抱える留萌市が、7年間で返済(解消)していくという計画ですが、私たちの生活にもたくさんの厳しい影響が出てきます。多額の赤字をどうやって解消するのでしょうか？公立病院特例債を発行すると聞いていますが、どの様なものですか？新しい借金ができてしまうのですか？

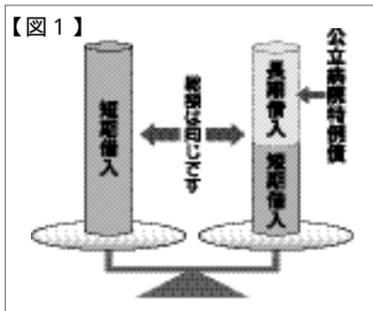


公立病院特例債 とは...
 医師不足などの理由で発生した不良債務(赤字)に対して、計画的に解消に取り組むことができるようにH20年度に限って発行が許可される地方債(借金)です。

現在は、資金(現金)不足を穴埋めするために銀行から短期の借入(1年未満)で借り換えを繰り返しながら穴埋め(いわゆる自転車操業)をしていますが、7年間の長期の借入(公立病院特例債)に振り替えるものなので、新たな借金が増えるわけではありません。【図1】

・公立病院特例債の発行額

$$27億4,640万円 (H19末不良債務) - 9億2,210万円 (H15末不良債務) = 18億2,430万円$$

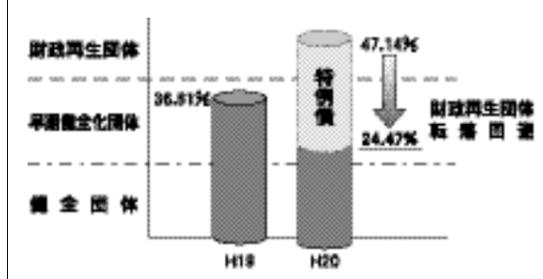


公立病院特例債発行のメリットは、発行した赤字分18億円は「連結実質赤字額」から除かれるので、危機的状況の留萌市の財政にとっ

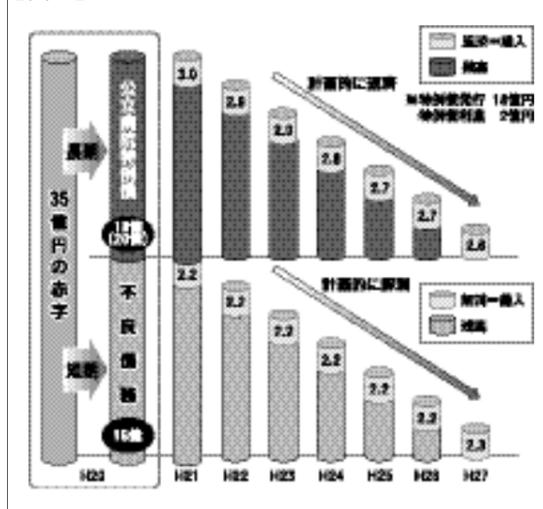
ては、財政再生団体への転落を一時的に回避することができ、【図2】借金返済にあわせて計画的に健全化をすることができます。この借金を返済する財源は、一般会計から全額支援していただくことになりました。また、残っている不良債務17億円についても公立病院特例債の償還にあわせ一般会計から支援を受けます。【図3】

- ・連結実質赤字比率から除かれます = 財政再生団体への転落回避
- ・利息の一部は国から支援を受けられます(短期借入は支援はありません)

【図2】(連結実質赤字比率)



【図3】



「財政健全化計画」及び「市立病院経営改革プラン」は、35億円の不良債務を一般会計からの支援により計画的に返済し、H27年度末には全ての不良債務(赤字)を解消する計画です。市立病院はこれ以上赤字を発生させないため、職員給与の削減などプランの実行により『単年度収支均衡』を図ってまいります。

知りたいことがある方は、議会事務局内(議会広報特別委員会・42-1907番)で受付いたします。

常任委員会の動き

第1常任委員会

《平成20年11月5日開催》報告及び審議事項

【産業建設部】

高波による黄金岬海浜公園水難事故について

【教育委員会】

陳情第1号 留萌市立幌糠小学校の閉校案の撤回を求める陳情について

- ・留萌市立小中学校適正規模及び配置について(報告)
- ・留萌市小中学校適正配置について
- ・幌糠小 学級編成(平成20年5月1日)について

《平成20年11月21日開催》報告及び審議事項

【総務部】

留萌市管理職徴収の実施状況について
 物損事故による損害賠償の専決処分について
 平成20年度一般会計補正予算について
 留萌市税条例の一部を改正する条例案の概要について
 留萌市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例制定について
 留萌市表彰制度の見直しについて

【産業建設部】

平成20年度除雪計画について
 専決処分の報告について
 12月補正予算について
 ・農業経営基盤強化資金利子負担金について
 ・地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金について

【政策経営室】

第5次総合計画推進施策評価の結果について
 平成20年度補正予算説明資料について

【教育委員会】

平成20年度全国学力・学習状況調査の結果について
 学校支援地域本部事業について
 平成20年度海のふるさと館入館者の状況について

《平成20年11月26日開催》報告及び審議事項

【教育委員会】

陳情第1号 留萌市立幌糠小学校の閉校案の撤回を求める陳情について

第2常任委員会

《平成20年10月14日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

平成20年第5回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果報告
 平成20年第6回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果報告

【健康福祉部】

るもいコホートピア構想について(構想と施策との関連、推進機構について、市民との関わり)

【市立病院】

家庭医療について
 家庭医療の展開について



《平成20年11月20日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

20年度補正予算(案)について
 留萌市国民健康保険条例の一部改正(案)
 留萌市下水道条例の一部改正(案)
 留萌市水道事業給水条例の一部改正(案)
 マイバック推進事業についての報告
 平成20年第7回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果報告
 水道料金の改定についての答申

【健康福祉部】

20年度補正予算(案)について
 財政健全化計画における見直し対策事業について
 るもいコホートピア推進事業について

【市立病院】

20年度病院事業関係補正予算概要について
 留萌市病院事業の設置等に関する条例の一部改正(案)について
 20年度10月末患者数について
 留萌市立病院改革プラン(案)について
 通院バスの実験運行について
 家庭医について

《平成20年12月26日開催》報告及び審議事項

【健康福祉部】

るもいコホートピア推進事業についての報告
 健康の駅(萌明荘)構想についての報告
 ドクターヘリの経過についての報告

平成20年 第4回定例会 一般質問の頂上のめ を紹介いたします

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

- 1 留萌市の漁業振興政策について
担い手不足解消と漁業基盤
確立のための政策
- 2 「留萌ブランド」とヘルスツー
リズム
- 3 漁業振興連携と留萌市の役割

坂本 茂 議員
(無党派・共産党)

- 1 市立病院改革プランについて
不良債務35億円発生
の主な原因と責任、国・道に
対する要請
- 2 公営企業法全部適用のメ
リットをどの様に発揮する
のか
- 3 病院はどのように変わら
うとしているのか

松本 衆司 議員
(萌芽クラブ)

- 1 子供たちの笑顔が広がるま
ち、留萌の実現のために
第5次総合計画の推進策
評価の結果について
- 2 留萌市財政健全化計画(案)
に関する市政懇談会について
- 3 留萌地域での高校教育について
- 4 北海道の公立高等学校配置

菅原千鶴子 議員
(民主・市民連合)

- 1 財政健全化計画について
「新地方公会計モデル」の
対応について
- 2 街づくり・人づくりと休止
廃止について
- 3 パブリックコメントについて
- 4 病院改革プランについて
- 5 コホートがもたらす経済効果

天谷 孝行 議員
(留萌公明党)

- 1 財政健全化計画等に関す
る市政懇談会について
- 2 市政懇談会で特筆すべき
「市民の声」
- 3 「市民の意見」を反映させる
手法
- 4 見直しが必要な計画の項目
について
- 5 「病院改革プラン」の信頼度
について
- 6 収支均衡・病床利用率・職
員給与比率
- 7 療養病床・診療所の設置
「定額給付金」に関する留萌
市の対応について
- 8 所得制限 給付開始日の決定
2) 万全な準備でスムーズな実施
3) 経済対策(生活対策)の効果
を發揮する工夫
- 9 地元消費につながる取組み

珍田 亮子 議員
(萌政会)

- 1 検討案と第五次総合計画、
自治基本条例の整合性
- 2 市民懇談会の結果について
- 3 健全化対策案の重点項目と
行政サービスの見直しについて
- 4 収入確保について
- 5 全体的な人件費削減について
- 6 今後の市立病院の課題について
- 7 「留萌市自治基本条例と市
民参加、満足度」について
- 8 自治基本条例の活用と評価
制度について
- 9 予算編成過程への市民参加
について
- 10 留萌市の環境、ごみ問題に
ついて
- 11 環境基本計画、ごみ処理基
本計画等の市民周知と推進
状況について
- 12 ポイ捨て禁止条例と環境都
市宣言の提言
- 13 綿・繊維製品、環境ネット
ワークについて
- 14 子ども政策について
- 15 つどいの広場「事業」について
- 16 こどもの権利条例について

野崎 良夫 議員
(民主・市民連合)

- 1 定額給付金について
- 2 制度に対する首長としての見解
2) 実行にあたって市としての対応
- 3 留萌市応援寄附条例について
1) これまでの取組み
- 4 申し込み状況と今後の展開
- 5 財政健全化計画について
- 6 市政懇談会の結果の感想
- 7 市立病院赤字の原因
- 8 病院経営今後の展望
- 9 計画達成後の街の展望

「食料自給率」



農業委員会会長 中原 耕 治

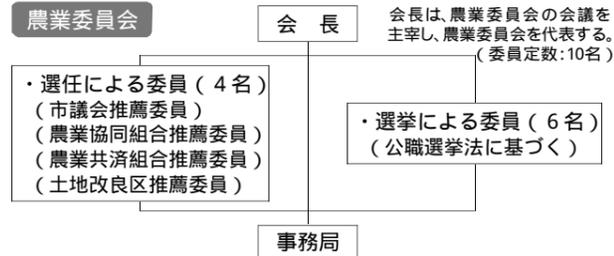
昨年7月より会長の職を担わせて頂いています。就任以後、「食」に関する事件・事案など、世を震撼させた問題事例や世界的な穀物価格の高騰等で、農産物に対する安全性や供給不安など国産農産物へと関心が向けられました。しかしそこには自給率40%という日本農業の課題があります。食料自給率を上げるにはどうしたらよいか、消費者を巻き込み農業を考える機会になっています。

農業委員会は農業全般にわたる問題を農業者が自主的な協力により、民主的に解決する為の地方自治体の組織です。優良農地の確保と保全、また意欲ある担い手の育成確保がすべての基本理念になっています。留萌市では耕作放棄地や不適切な農地利用等の実態把握のため、農地パトロールを行っています。また、農村の豊かな自然環境で生産される農産物の生産現場を体験する「食育」、地産地消を推進する「農産物直売所」を応援しています。行動する農業委員会を目標に農業・農村の活性化を目指し、努力します。

農業委員会

■農業委員会について

「農業委員会等に関する法律」に基づく業務を行なう行政委員会であり、公職選挙法に基づき選挙によって選ばれる農業委員と選任による委員による合議制の執行機関です。



■農業委員会の主な業務

農地法令業務
農地行政は、農業委員会が専属的な権限として行う業務で、農地の権利移動についての許可や農地転用などの業務です。また、農地に関する資金や税制なども含まれます。
地域農業振興 構造政策推進関係を中心とした業務)
農地確保・有効利用と担い手の確保・育成を中心に地域農業の振興を図る業務。
また、認定農業者など担い手の育成と農地の利用集積の促進などの業務。
意見の公表・建議及び諮問に関する答申業務
農業者の公的機関として、農業振興のため行政庁に対し意見の公表や建議・答申の機能が与えられています。従って地域農業者の声を積み上げ農業の発展に結びつく取組を行っています。

この言葉の意味は?

最近気になる行政用語の解説をいたします

「請願」と「陳情」

市政に対する意見や要望を文書で直接議会に提出することができます。

請願は、一人以上の議員紹介により提出するもので、憲法第16条で保障されている権利(請願権)。請願書は、議会の開会・閉会中を問わず提出することができ、主に委員会に付託、審査され、その結果が本会議に報告されます。

陳情書は、議員の紹介を必要とせず提出できます。請願権と異なり法的な保障はなく処理の結果について報告する法律上の義務はありません。

議会に提出された陳情は全議員に配布され、自治体によっては陳情書も請願書と同様に処理されるケースがあります。留萌市議会では、主に委員会に付託され、審査結果を議会で報告しています。「意見書」

市政の発展に必要な事柄の実現を国や北海道など関係機関に要請するため、地方自治法第99条に基づき、市議会の意思をまとめたものが意見書です。国や北海道など関係機関に提出することができます。

議会広報特別委員会から

第4回定例会は、多額の不良債務を抱える市立病院の経営改革と留萌市財政健全化計画策定にあたり、市民サービスの縮減や増税など市民生活に大きく影響する課題について議論が行われました。一方で、市民負担を強いる前に「議員報酬の削減が先ではないのか」との厳しい意見が寄せられておりました。市議会では、健全化計画に対処するため、議員の責務を踏まえた上で議員報酬、政務調査費、委員会視察費など議会活動費全体の削減幅について検討。留萌市再生がスムーズに遂行されるよう、議会としての役割をしっかりと果たしていくことを確認しました。

委員長 村山ゆかり / 副委員長 村上 均
委員 原田 丈三・野呂 照幸・富田 直樹

留萌市議会事務局

☎ 0164-42-1907 (直通) ☎ 0164-43-6700
E-mail: rumoishigikai@basil.ocn.ne.jp